



令和6年度 高雄日本人学校

愛河

校訓 「高雄の子ども」 たくましい子 考える子 思いやりのある子



学校だより 2月号

令和7年1月24日

文責 校長 堀山 知基

1年間の集大成

1月18日(土)、小学部の学習発表会を開催しました。多くの保護者の皆様に参観していただきました。ご来校、誠にありがとうございました。

さて、子供たちの発表の様子はいかがだったでしょうか。国語「くじらぐも」の展開に合わせて、ハンドベル合奏やけん玉を披露した1年生。国語「お手紙」で学習したアーノルド・ローベルの作品を、劇にして元気よく演じた2年生。某有名アニメの海賊王を目指す主人公を中心に、歌ありダンスありの見事な演技力を披露した3年生。総合的な学習の時間で学んだ烏山頭ダムの歴史を、分かりやすいスライドにまとめて発表した4年生。宿泊学習の様子を楽しい振りや寸劇を交えて発表した5年生。そして、最後を飾った6年生は、観ている人たちを惹きつける楽しい発表の構成と見事な演技力で、学習発表会全体を締めくくってくれました。

どの学年も大変すばらしい発表ばかりでしたが、1年間の集大成として、子供たちが身に付けてきたまとめる力、発表する力、表現する力などを十分に発揮することができた学習発表会でした。子どもたちは、この学習発表会で「やれば、できる」という大きな自信と充実感をえました。この成功経験と自信を次への活動に進む力として、今年度の残りの学習活動にもしっかりと取り組んでほしいと願っています。子供たちに大きなご声援をいただき、ありがとうございました。



鹽埕國中交流会

1月15日(水)、中学部が鹽埕國中との交流会に出掛けました。今回の活動の目玉の一つに、愛河での「ボート乗船体験」がありました。恐る恐るボートに乗り込んだ生徒たち。最初は櫂を揃えるのが難しく、なかなかボートが進まない場面がありましたが、徐々に櫂裁きに慣れて、滑らかにボートが進むペアが見られ、愛河に楽しそうな歓声が響きました。



そして、台湾ならではの文化の一つでもある「紅包」作りにも挑戦しました。紅包は、お正月のお年玉や結婚式での祝儀にも使用されている大変縁起の良いものだそうです。鹽埕國中の生徒のアドバイスを受けて、紅包の表にはこれまた縁起の良い言葉を書き、春節前に相応しい活動に取り組むことができました。



このように、令和6年度も現地の中学校や大学との交流活動を実施することができました。台湾と日本のお互いの文化を知り、尊重し合う、貴重な台日交流の場です。令和7年度も、さらに活動が充実するよう推進していきます。